

(13)神末

(宇陀郡御杖村神末～佐田峠)

御杖神社の棟札には「伊賀之国名張上津江之御宮造宮」と書かれたものがあり、中世から近世初めまでは名張郡に属し、川の上流部であったため上津江と呼ばれていたことが判る。今も道の駅からは近鉄名張駅まで三重交通バスが走っている。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- まぢがえやすい分かれ道
- 地蔵など
- その他文化資産等
- 案内板
- トイレ



108 牛峠下り
国道を渡り休憩所から手前の細い道を下る



110 西町の太神宮燈籠
火袋台の四方に松竹梅と菊紋がある。文政9年(1826)の建立



114 新しい伊勢街道の道標
大洞山を望む三叉路に建つ



113 佐田峠の行悦⑦
「はせより尾迄九里 尾より宮川迄十二里廿一丁 為六十六部供養願主 行悦」



111 今西家
元旅館「永代屋」を営む



112 岡田の谷の半夏生園
休耕田を利用して半夏生を栽培。見頃は7月



109 御杖神社
倭姫命が、候補地の印として杖(御杖)を残したと伝わる

この部分は次ページをご覧ください

